

**製品名: ADCK4 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab06610**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	65kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ADCK4
別名	ADCK4; Uncharacterized aarF domain-containing protein kinase 4
遺伝子 ID	79934.0
SwissProt ID	Q96D53
免疫原	抗血清はヒト ADCK4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 31-80

**背景**

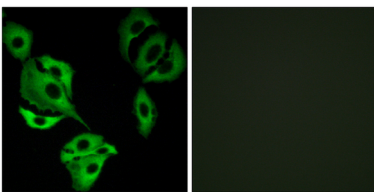
この遺伝子は、タンパク質キナーゼに見られるドメインを 2 つ持つタンパク質をコードしています。コードされているタンパク質は、完全なタンパク質キナーゼ触媒ドメインと、タンパク質キナーゼドメインの活性部位と結合部位のみを含む短縮ドメインを有し

ていますが、キナーゼ活性を有するかどうかは不明です。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションがみついています。[RefSeq 提供、2011 年 9 月]機能: このタンパク質の機能はまだ明らかではありません。タンパク質キナーゼ活性の有無、またリン酸化される基質の種類 (セリン、スレオニン、チロシン) は不明です。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリー (ADCK タンパク質キナーゼファミリー) に属します。類似性: 1 つのタンパク質キナーゼドメインを含みます。、

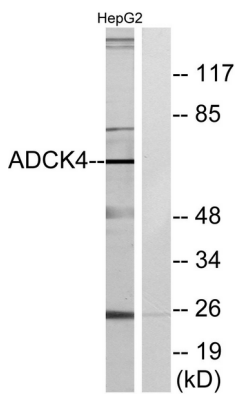
## 研究分野

-

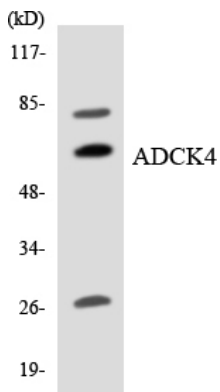
## 画像データ



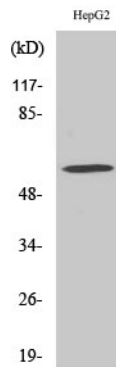
ADCK4 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。



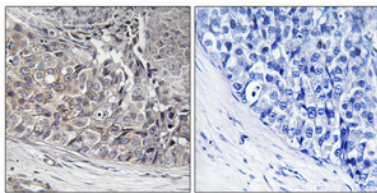
ADCK4 抗体を用いた HepG2 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



ADCK4 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



#### ADCK4 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



パラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4℃、一晩) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。